

9 月彼岸出荷向けの白色コギク新品種 「常陸オートムホワイト」(品種登録出願中) 栽培マニュアル

茨城県農業総合センター生物工学研究所・園芸研究所

1. 品種特性

- 1) 花色は純白です。
- 2) 節数、分枝数、花蕾数が多くボリューム感があります。
- 3) 自然開花期は 9 月中旬で、9 月彼岸に出荷が可能です。

2. 作型 (目標収量: 3,500 ~ 4,500 本 / a)

月 作型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
9 月出荷	×											

(: さし芽, : 定植, × : 摘心, : 出荷)

3. 育苗

- 1) 親株は露地のビニルトンネルで越冬し、さし芽 30 ~ 40 日前に新芽を摘心したのち、発生したわき芽を 10 cm 程度、4 ~ 5 枚の葉を残して採穂します。
- 2) さし芽は排水性・保水性の良い無病の床土あるいはセルトレイ (200 穴程度) に行います。3 ~ 4 cm 間隔で 3 cm くらいの深さにさします。
- 3) さし芽後は十分に灌水し、その後 5 ~ 6 日控えます。さし芽後 1 週間はビニルと寒冷紗をかけます。
- 4) 発根後、徐々に外気と日光に当てていきます。

4. 施肥

- 1) 有機肥料や緩効性肥料を主体とした基肥を、窒素、リン酸、カリを成分で各 1.5kg/a 施用します。
- 2) 基肥と同時に完熟堆肥 200kg/a を定植 15 日前までに施用し、十分に土壌混和しておきます。

5. 定植・栽培管理

- 1) 基本はマルチ栽培で、畝間 1.2 ~ 1.4m・株間 10 ~ 12 cm・条間 30 ~ 40cm の 2 条植えとします。
- 2) 苗が十分に活着したら生長点を浅く確実に折り取って摘心し、側枝を伸長させます。
- 3) 6 月以降、生育が揃った側枝を 1 株当たり 3 本残すように整枝します。
- 4) 草丈が 20 cm 位に伸長したころ、フラワーネットを張ります。
- 5) フラワーネットは伸長に応じて上げていきます。この時、茎の中下位節から側枝が発生しやすいので注意します。

6. 病害虫防除

- 1) 無病苗を用いるとともに、病害虫の予防的防除を徹底します。
- 2) 連作を避け、窒素肥料の過多、排水不良に留意します。
- 3) わい化ウイルス病発病株を発見したら抜き取り処分し、親株を更新します。



7. 収穫・調整

- 1) 切り前は販売先に応じたものとします。
- 2) 収穫は涼しい時間帯に行い、収穫後は萎れる前に水揚げを行います。



問い合わせ先

生物工学研究所 果樹・花き育種研究室 電話 0299(45)8330
園芸研究所 花き研究室 電話 0299(45)8341